

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	教科教育法（国語）						授業形態		講義	
科目コード	750090	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	藤本 朋美								ICT活 用	○
授業概要	この授業の目的は、小学校において児童に言語能力を育成するための指導力を身に付けることである。 そのために、①小学校学習指導要領に示されている国語科の目標、学年の目標及び内容（言葉の特徴や使い方に関する事項、情報の扱い方に関する事項、我が国の言語文化に関する事項、A 話すこと・聞くこと、B 書くこと、C 読むこと）について理解し、②小学校国語科の教材を用いて、教材分析や学習指導過程の作成、模擬授業等を行い、国語科の教科指導力を身に付ける。									
関連する科目	事前に「国語」を受講しておくことが望ましい。 同時に「教育課程論」、履修後に他教科の教科教育法を受講することが望ましい。									
授業の進め方 と方法	毎回の授業において、演習形式の授業を行います。1回の授業構成は次のとおりです。 授業の前半では、各テーマについての講義を行います。 【知識・理解の獲得】 後半ではグループディスカッション等にて、前半の学びを深めます。 必要に応じて、レポートや小テスト、模擬授業により学習状況を確認します。 【知識・理解の獲得】【汎用的技能の育成】 毎回の授業終了時には「学習の記録」を書き、自身の学びについて振り返ります。 【態度・志向性の育成】 なお、毎時間後に作成する学習の記録はWeb 上で作成し、学習進捗の確認及びそのフィードバックを行います。 講義資料の提示・課題の提出は、ユニバのクラスプロファイル上で行います。									
授業計画 【第1回】	授業設計の重要性和国語科の目標 授業設計の重要性について確認するとともに、国語科で育成する資質・能力を確認する。									
授業計画 【第2回】	言葉の特徴や使い方に関する事項 言葉の特徴や使い方に関する事項の指導内容について、指導の系統を明らかにする。									
授業計画 【第3回】	情報の扱い方に関する事項、我が国の言語文化に関する事項 情報の扱い方に関する事項および我が国の言語文化に関する事項の指導内容について、指導の系統を明らかにする。									
授業計画 【第4回】	話すこと・聞くこと① 指導の系統 「話すこと・聞くこと」の指導事項や言語活動例をもとに、指導の系統を明らかにする。									
授業計画 【第5回】	話すこと・聞くこと② 教材研究 小学校国語科の教材を用いて、小学校学習指導要領との関連に着目しながら、教材分析を行う。									
授業計画 【第6回】	話すこと・聞くこと③ 学習指導過程検討 教材研究をもとに、学習指導過程を検討する。 （小学校国語科指導法の基本的な内容、指導と評価、情報通信技術の効果的な活用等を検討しながら学習指導案を作成する）									
授業計画 【第7回】	話すこと・聞くこと④ 模擬授業 模擬授業を行い、「話すこと・聞くこと」の指導のあり方について検討する。									
授業計画 【第8回】	書くこと① 指導の系統 「書くこと」の指導事項や言語活動例をもとに、指導の系統を明らかにする。									
授業計画 【第9回】	書くこと② 教材研究 小学校国語科の教材を用いて、小学校学習指導要領との関連に着目しながら、教材研究を行う。									
授業計画 【第10回】	書くこと③ 学習指導過程検討 教材研究をもとに、学習指導過程を検討する。 （小学校国語科指導法の基本的な内容、指導と評価、情報通信技術の効果的な活用等を検討しながら学習指導案を作成する）									

授業計画 【第11回】	書くこと④ 模擬授業 模擬授業を行い、「書くこと」の指導のあり方について検討する。
授業計画 【第12回】	読むこと① 指導の系統 「読むこと」の指導事項や言語活動例をもとに、指導の系統を明らかにする。
授業計画 【第13回】	読むこと② 教材研究 小学校国語科の教材を用いて、小学校学習指導要領との関連に着目しながら、教材研究を行う。
授業計画 【第14回】	読むこと③ 学習指導過程検討 教材研究をもとに、学習指導過程を検討する。 (小学校国語科指導法の基本的な内容、指導と評価、情報通信技術の効果的な活用等を検討しながら学習指導案を作成する)
授業計画 【第15回】	読むこと④ 模擬授業 模擬授業を行い、「読むこと」の指導のあり方について検討する。
授業の到達目標	1. 小学校国語科の目標及び内容を理解している。【知識・技能の育成】 2. 小学校国語科の学習評価の考え方を理解している。【知識・技能の育成】 3. 子どもの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。【知識・技能の育成】 4. 具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。 【知識・技能の育成】 【汎用的技能の育成】 5. 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。 【汎用的技能の育成】 【態度・志向性の育成】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外学習【予習】	授業時に予習教材を提示します。次の授業までに確認してください。(1時間程度)
授業時間外学習【復習】	授業後には、授業の要点を整理するとともに、「学習の記録」に自らが記した「問い」について、関連した図書・資料などを読み、自身の考えを深めてください。 また、学習指導案作成について、事例を多く収集し検討を重ねてください。(30分程度)
課題に対する フィードバック	レポート・プレゼンテーション(模擬授業含む)・最終試験は、評価後、解説する。
評価方法・基準	学習への意欲的な取り組み(学習の記録) 20点 レポート・プレゼンテーション(模擬授業含む) 30点 最終試験 50点
テキスト	『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編』文部科学省(2018) 東洋館出版、(162円＋税)
参考書	必要に応じて図書、資料を紹介する。
備考	